

【記者発表】 7月12日

知事／本日の感染者数は、過去最多の1,205人。福岡県と宮崎県を除き、九州各県も過去最多を更新した。全国的に陽性者数が激増している。

先日の新型コロナウイルス感染症対策本部会議で、20日に1,000人を超えると推計したが、それが1週間早まった。ほとんどがBA.5に置き換わり、今後も全国的に激増するだろう。

改めてBA.5の特徴を分析した。1月からオミクロン株になり、BA.1、BA.2、BA.5と置き換わってきた。このグラフの水色が感染者数で、黄色い部分が中等症Ⅱ以上の患者数。中等症Ⅱは、医療的ケアが必要な人で、数は減少している。

4月以降の重症者はゼロ。死者数も減少している。感染者数は激増しているが、医療的ケアが必要な人は減少している。このBA.5に、どう向き合うべきかがポイント。

分析では今後も激増が予想される。限られたマンパワーで、中等症Ⅱ以上の医療的ケアが必要な人、症状がある人、高齢者の対応に重点化していく必要がある。

感染者数の大半が若者であり、軽症か無症状で、発熱しても一定の日数で落ち着く。県民の皆さんには、対応の重点化にご理解いただき、引き続き、日々の感染症対策をお願いします。現時点では行動制限は設けない。感染症対策をしつつ、生活と経済の両立を図っていく。

コロナは先が見通せないため、日々の状況に的確に対応できるよう分析を継続し対応を練っていく。

感染者数の激増で、エッセンシャルワーカーの感染が増加し、社会経済活動が滞らないよう対応していく。現在、エッセンシャルワーカーが濃厚接触者でも、陰性判断であれば、仕事に復帰していいことになっている。それらも含め、要員の配置の問題にも尽力する。

S T S／対策本部会議での推計のピークを上回っているが、ピークの見通しは？
知事／科学的根拠はないが、BA.1とBA.2の状況から、40日過ぎると下がり始める。20日に1,000人と予測していたが、1週間前の今日が1,200人。今後も増加傾向で、もっと大きな数になるかと。その時点での病床使用率や医療的ケアが必要な人の状況の推移を見定めたい。

青木先生からは、だんだん人になじみ、風邪のように広がっている状況だと伺った。軽症であれば、以前のようなコロナ対応と違うものでいいというのが佐賀県の考え。全国知事会議でも、このような佐賀県の姿勢を話したい。

S T S /陽性者数の増加だけでは行動制限をかけないということか。
知事 /そのとおり。

S T S /改めて県民に呼びかけを。

知事 /感染者数が増加傾向にあるが、BA.5 の特徴に合った対応が大事だと考えている。医療的ケアが必要な人や高齢者の対応に重点化したい。BA.5 は、発症しても数日で平熱に戻る人が多いので、冷静に対応してほしい。引き続き、感染症対策をお願いする。

読売新聞 /対応を重点化するのは、いつからか。また、想定する内容は？

知事 /これまでのコロナ対応は、陽性が判明した場合、保健所からそれぞれに連絡していた。感染者数が少なくても重症化することが多かったので、初動が大事だと言ってきた。現在のオミクロン株は、症状は軽いですが、感染者数が多くなり、全員に対応することが困難になってきた。そこで、限られたマンパワーを、中等症や呼吸器が必要な人、高齢者、基礎疾患がある人に使う。今までとは違う方向にかじを切った。

読売新聞 /今日から始めるのか。

知事 /すでに行っているが、改めて県民の皆様には知らせる必要があると思い説明した。

読売新聞 /県庁から、保健所に人を増員することは？

知事 /状況に応じて行う。今後も感染者は増加すると見込んでいる。危機管理で大事なことは、相手に応じた適切な対応をすること。若い人の感染が多く、症状も軽い現状に見合った対応をしていく。

佐賀新聞 /病床、療養ホテル、自宅療養者の扱いで、検討事項があれば教えてほしい。

知事 /自宅療養者とは、相談に乗りながら対応している。ほとんどがそのまま、快癒していくが、状態が悪化したと感じた場合は、すぐに保健所、119番、病院に連絡をしてほしい。

佐賀新聞 /病床を増加する準備はあるのか。

知事 /病床の管理も含めて全体の方針を検討中。ピークとみている7月20日前後に向けて、状況を分析しながら、戦略を練っていく。それを県民の皆様にはお知らせする。

西日本新聞 /県内の警戒レベルやステージに変更はあるのか。

知事 /2のまま。3にするときは、改めて説明する。

朝日新聞／ステージの変更は、病床使用率に重きを置いて判断するのか。
知事／主に病床使用率、周辺の状況を踏まえて判断する。

朝日新聞／1,000人台に達したのが、予想よりも1週間ほど早かった。その要因と、40日後、想定するピークはどれぐらいだと分析しているのか。

知事／BA.5は、感染力が速い。症状が出る前に感染させているのではないかと推測している。そのように変化しているのであれば、なかなか追いきれない。

国も特別な行動制限はかけないと発表したけど、それならばBA.5の対処方法などを含め科学的に説明してほしい。

朝日新聞／早まった要因は、BA.5の感染力が予想より強かったからか。

知事／BA.5はBA.2に比べて1.2倍の感染力と計算していた。それが1.35倍となり、最近、もっと加速している。BA.5は当初の予想より感染力が速く強い。

記者／ピークの人数が想定できないのも同じ理由か。

知事／再計算するが、かなりの上方修正になるだろう。

共同通信／軽症、無症状者への対応で変更があるのか。

知事／ほとんどない。今までより、さらに症状が軽くなっている。子供だと1日で平熱に戻るケースも多い。

コロナの初期は、すぐ閉じるべきだという県民の意見が多かったけど、最近は、生活を支えるために維持してほしいという声がほとんど。BA.5にどう向き合うべきか、社会全体で考える必要がある。